# 令和３年度　事業報告書

特定非営利活動法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク

# 2021 年度を振り返って

コロナによって、多くの事業が変更や延期が繰り返された 1 年間であった。
その 1 年間を振り返ってみたい。

2020 年にスタートした KYOTO　CHOREOGRAPHY AWARD（KCA）であったが、2021 年度は運営資金となる文化庁（新進芸術家育成）が不採択となり、どうしようかと事務局で模索する中で、「ARTS for the future!」を活用し、KCA2020 のアワード受賞者による公演シリーズ「Choreographers」を新たに立ち上げることになった。このシリーズでは、振付家の仕事に着目し、新たな観客を開拓することを目的とした。公演前にプレトークを行い、どのようにダンスを観るか、その多様性や幅の広さをまず知識として頭に入れてもらい、その後でダンスを観るという初めての試みを行った結果、多くの方から「ダンスをより面白く見ることができた」という声をいただいた。文化庁が不採択になったことによって生まれたプログラムであるが、今後の JCDN の柱の事業となりうる大きな発見があり、可能性を感じた。

2014 年にスタートした三陸国際芸術祭は、2020 年の東京オリンピック時の開催を目標に毎年開催してきた。オリンピックの正式な共催文化プログラムにも採択され、海外からの旅行者が東京に来た後に三陸に来て、三陸の自然や芸能などに触れていただきたいと思い、様々な準備を行ってきた。しかしコロナによって、海外からの旅行者が来れなくなり、かつ三陸内でも人々が集まることも制限されてしまったために、予定していた事業日のぎりぎりまで、有観客か無観客かを話し合い、そして芸能団体自体も、集まって芸能を披露することも困難な状態になっていた。結果、ほとんどの事業はオンラインや、方法を変え、現地スタッフの努力と頑張りによって実現した。
また、海外からの渡航がなくなり、その予算を活用して、2014 年から 2021 年の三陸国際芸術祭の記録集を作成することができた。

一方、コロナによって、ようやく公開にたどり着いたサイトと、新しく生まれたサイトがある。
公開にたどり着いたサイトは「コミュニティダンスのすすめ」。約 10 年前から準備をはじめ、何度か公開目前まで行きかけたが、どうしても最後までたどり着けずにいたサイトが、コロナによって少し時間的余裕ができたのと、持続化給付金によって、公開にたどり着けた。今後全国の社会とダンスの活動が可視化する大きな起爆剤としていきたい。
もうひとつのサイトは「Dance　Door」である。2020 年度のコロナ支援の 2 事業による動画収集と映像制作によって集まったダンス映像を、有料のコンテンツとして、課金システムから映像登録までを自分たちで運営できるサイトを作り上げた。これまでコンテンポラリーダンスに特化した映像サイトがなかったため、今後しっかりと育てていきたいと考えている。

2 年ぶりのコミュニティダンス・ファシリテーター養成スクール、8 年目となった「こちかぜキッズダンス」、学校へアーティストを派遣するコミュニケーション教育事業も、変更や延期などがあったが、確実に成果を生み出すことができた。詳しくは、各報告ページをご覧ください。
コロナに負けず、大忙しの 1 年であったことをご報告させていただきます。

2022 年 6 月 5 日

佐東範一

# 目次

## Ⅰ. 事 業 部 門


1. 国内のダンスアーティストの育成と創造環境作り　－p.2

・『Choreographers 2021　次代の振付家によるダンス作品トリプルビル＆トーク』
KYOTO CHOREOGRAPHY AWARD 2020 受賞者公演

2. コンテンポラリーダンスに関わる情報の発信　－p.5

・ダンスビデオ配信サイト『DANCE DOOR』

3.　文化芸術による被災地の復興支援　－p.6

・三陸国際芸術推進事業 2021

Ⅰ　令和 3 年度日本博主催・共催型プロジェクト『三陸国際芸術祭　縦』――――p.6

Ⅱ 『三陸国際芸術祭 三陸×アジア 芸能交流プログラム』 ――――――p.8

Ⅲ 『三陸芸能短期留学（オンライン芸能体験事業）』『芸能マッピング』 ――p.9

4. 「すべての人がダンスと出会う」機会を創る、コミュニティダンス　－p.10

・コミュニティダンス・ファシリテーター養成スクール 2021 ―p.10

・「こちかぜ（東風）キッズダンス 8 」 ――――――――――p.11
―東山区発の、ダンスによる子ども育成を通した地域力創造プログラム 2021―」

・コミュニティダンスのすすめ― Community Dance in Japan on web ―p.12

5.　子どもたちの創造力・表現力・コミュニケーション力を育む、創造的なダンス教育の普及　－p.13

・文化庁/令和 3 年度「文化芸術による子供育成総合事業－コミュニケーション能力向上事業－」
NPO 法人提案型

6. コンテンポラリーダンスを用いた、社会的課題への取組　－p.17

・「創造的なダンスによる、子どもはぐくみ事業」

7. その他、講習・政策提言・アドバイザー等　－p.17


## Ⅱ. 会 員 部 門


1. コンテンポラリーダンスに関わる情報の発信　－p.18

・JCDN 会員サービス等

## Ⅰ. 事 業 部 門

プレトークの様子

### 1. 国内のダンスアーティストの育成と創造環境作り

# Choreographers 2021 次代の振付家によるダンス作品トリプルビル＆トーク KYOTO
## CHOREOGRAPHY AWARD 2020 受賞者公演

**＜事業主旨＞** 2021 年度に新たに始めたダンス公演＆トークのシリーズ。コンテンポラリーダンスの振付家の役割が、一般的に想像されるような「振りを付ける」ことに留まらず、作家であり、演出家であり、思想家であり、冒険家である、ということ。また、ダンスは、時には社会を察知し、真実を探るメディアでもあることなど、コンテンポラリーダンスの振付家にまつわる様々なことを、上演＆トークを通して掘り下げ、コンテンポラリーダンスに初めて触れる方にも楽しんでいただけるよう紹介する。受賞した新進気鋭の振付家に作品を再演する機会を設けることと同時に、コンテンポラリーダンスの社会的役割の認知度や観客層の開拓に力点をおくプログラム。

※（実施に至る経緯）2019-2020 年、2 年間行った「ダンスでいこう！！」が文化庁（人材育成）の委託を継続して受けられず、令和 3 年度は行えなかった。代わりに、AFF 補助金を活用し「KYOTO CHOREOGRAPHY AWARD（KCA）2020」の受賞振付家 3 名の受賞者公演を企画した。

**＜実施内容＞** 第一弾は、2020 年に開催した「KYOTO CHOREOGRAPHY AWARD（KCA）2020」の受賞振付家 3 名をフィーチャーし、旬の女性振付家による 3 つ全く世界観の異なる作品を一挙上演。振付家には、中規模の劇場（ロームシアター京都・サウスホール）での再演にあたり、出演者・演出などのリ・クリエイション（再創作）や、舞台美術付での作品上演を行ってもらった。また、公演前にプレトークを実施。初めての方にも分かりやすくお話を加える事で、コンテンポラリーダンスの面白さを深めてもらう機会とした。他に各振付家の考えを知る機会のひとつとして、それぞれにインタビューを行い、web サイトで公開した。また、「踊る託児所」として託児中にダンスワークショップを試みた。

**＜成果＞** 本公演を中規模のホールで行ったことにより、振付家にとっては、踊りだけではなく空間全体をどのように作っていくのかという挑戦となった。プレトークでは、コンテンポラリーダンスの成り立ちや見方、考え方の多様性を伝えた。これが新しい観客にとって大変良かったという感想がアンケート等からわかり、私たちにとって大きな発見であった。新しい観客の開拓や、ダンスファンを広げていくきっかけとなる確信を持つことができた。一方で集客については年末に行ったため（周辺に適した会場で空いている時期がここしかなかった）、相当難しかった。早めに事業計画を立てていく重要性も感じた。本シリーズは、今後は全国の公共ホールと共同し実施する事を計画している。

【日程】 2021 年 12 月 30 日（木）17:30 開演 / プレトーク 16:30～17:15 【会場】 ロームシアター京都 サウスホール

【出演】 ※振付家／団体名（活動拠点）「作品名」の順で表記

1、下島礼紗／ケダゴロ（東京）「sky」（KCA 京都賞受賞作品）/演出・振付：下島礼紗 出演：伊藤勇太、小泉沙織、中澤亜紀、志村映美、秋田満衣、平田祐香、水口結、水澤茜嶺、宮本蓮生、木頃あかね、下島礼紗

2、横山彰乃／lal banshees（東京）「海底に雪」（KCA 奨励賞受賞作品）/演出・振付：横山彰乃
出演：後藤ゆう、吉野菜々子、横山彰乃 演出助手：斎木穂乃香

3、松木萌（京都）「Tartarus」（KCA 奨励賞受賞作品）/演出・振付：松木萌 出演：黒田健太、松木萌 演出助手：花本ゆか
音楽製作：金谷亘

◎公演前プレトーク 「社会とコンテンポラリーダンス作品との関係！？」
石井達朗（舞踊評論家）×吉田純子（朝日新聞社 編集委員）

【WEB サイト】 https://choreographers.jcdn.org/2021year ※公開時からアドレスを変更しました

【入場者数】 計 152 名 （一般 63 名／ペア 47 名／U25、障がい者 19 名／高校生以下 4 名／招待 19 名）

| 感想（公演アンケートより）　55 枚／回収率 36% | 年齢、性別 |
|---|---|
| **＜全体について＞** | |
| ありがとうございました！面白かった！よいお年を〜 | 10 代男 |
| すごかった　しびれた　怖かった　来てよかった。本当にそう思った。 | 10 代女 |
| ありがとうございました。また絶対に作品見に行きます。 | 10 代女 |
| それぞれ違いがあり面白かったです。 | 20 代 |
| 初めてのコンテンポラリーダンスの前のトーク、コンテンポラリーを見る前にどういうものなのか聞けて良かったです。見ている側とどういうことを伝えたいのかを共有して見るおもしろさを体験できました。 | 20 代女 |
| 何を言うべきかわかりません。ゆっくり咀嚼します。 | 20 代男 |
| まずトークについては興味深く、現代において「わかりやすさ」が求められているという発言など共感する部分も多かったです。公演について始めたコンテンポラリーダンスを観させていただきましたが、表現とは何かについてすごく考えさせられ、また型がなく自由である点がよいなと感じました。 | 20 代男 |
| コンテンポラリーダンスとは、アートとは、という大きい問いで始まり 3 公演とも楽しく見せてもらいました。 | 20 代男 |
| ド年末に素敵な舞台を観させていただきました。個人的にいろいろあった一年ですが生きてる意味が少し変わった気がします。ありがとうございました。 | 20 代男 |
| すごかったです。 | 20 代女 |
| 年末に本当に良いものを見れた。 | 20 代女 |
| プレトークの中で、わからないものを想像しながら観ることも大事、というお話があり、まさにその通りだなぁと思いながら 3 作品を観ていました。タイトルから想像のできる範囲ではない表現や動き、連動しているようにみえて応用した動き、変化した動きが連なっていくのをみているのが面白かったです。 | 20 代女 |
| 初めて生でコンテンポラリーの作品を観ました。3 つともそれぞれ違ってとても面白かったです。 | 30 代男 |
| トークにコンテンポラリーダンス全般の話だけでなく、なぜ今回の 3 組を出演依頼したか KCA の受賞理由がわかるような説明も加えてほしい。横山さんは KENTARO さん作品をガーリーにした魅力で新鮮さを感じていたが今回横山さんのこだわりのような、トリオダンスの自由な流れで一人一人を見せていこうとする姿勢がすばらしかった。松木さんの作品を初めて見て確かな技術を感じられるだけでなく舞台スタッフとの協働による厚みある作品作りをしていることに驚きました。下島さんの作品は二度目になります。横浜を離れ円熟味を増す作品になっていて過激というだけでない再演できることの喜ばしさがありました。 | 40 代男 |
| プレトークの内容が充実していました。時間が短く限られていたのが良かったのかもしれません。公演は間に充分休憩がとられているのが、気持ちを切り替えることができてよかった。 | 50 代男 |
| 今までコンテンポラリーダンスをわからないから見に行くと思っていたが、なぜ求めているのか少しわかった気がした。 | 50 代女 |
| コンテンポラリーダンスが存在する意義を感じることができる企画でした。ありがとうございました。劇場で観る機会を得られたことに感謝します。 | 50 代女 |
| わけわからんけど面白かった。プレトークでもわけわからんくても新しい出会いを楽しめればいいといってくれたので安心して楽しめた。 | 50 代男 |
| 三者三様の作風があり、面白かったです。 | 50 代女 |
| 今回トークを聞くまではコンテンポラリーのハードルがとても高くなかなか楽しめなかった（深く考えてしまっていた）。だが今回のトークを聞き、コンテンポラリーの持つ「表現」を少し理解できたよう | 60 代女 |

| | |
|---|---|
| な気がする。また少し楽しめたようだ。言葉にならないものの表現が身近に感じられた。まだまだコンテンポラリーダンスを理解できない人々は自分も含め多いと思う。 | |
| 久しぶりに生のトークが聞けて刺激になりました。 | 70 代女 |
| とにかく変わったダンス普通の動きがないところが面白い。退屈しない。 | 80 代男 |
| **＜各作品への感想＞** | |
| ケダゴロ表現者の覚悟を感じました。芸術でした。 | 無記入 |
| ケダゴロおもしろかった。最高 | 50 代女 |
| （下島作品）やはり SKY は良かったです。 | 50 代男 |
| 横山さんへ　数年前別府混浴祭でダンス見学ツアーに参加感動して以来ずっと気にしておりました。今回京都で観られると聞いて再び感動させていただきました。やはり横山さんのダンスは予測不可能ですごいです。ありがとうございました。 | 60 代男 |
| （松木作品）タルタロスの某宗教の読経のシーンは違和感がある | 50 代男 |
| （横山作品）今やペットボトルは海の生き物の総量を超えるといわれている。人間ではないものを振付にするというのは面白い。マリンスノーのような水泡のようなペットボトルたち。<br>（松木作品）愛というものの幻覚を感じさせる。人は互いに求めようが真なるものにはたどり着けない運動か。<br>（下島作品）浅間山荘事件、オウム真理教事件、部活での体罰殺人、ブラック企業問題などに切り込む力作。ものすごいスリリングだ。 | 40 代女 |
| 三者三様すばらしい企画、1 つ目（横山作品）は無機質な中にも手探りで探すバチバチ感。とても好みでした。二つ目（松木作品）は一度に色んな思いを内包している。引き付けられた。三つ目（下島作品）は素直に笑えなかったが悲惨な人々の営みを目をそむけたくなるものと笑いのはざまで観た。 | 30 代男 |
| （横山作品）死体のような「ワキ」他の星の「夢幻能」のようでした。<br>（松木作品）心臓音が続き、スケールが大きい感じ。多層的で奥行きを感じる。<br>（下島作品）頭の良い人の作品 | 40 代女 |

**※いただいたアンケート全てを掲載**

**【踊る託児所】**

**・時間：16:00 受付開始～19:30 終演時刻まで**

**・利用料:2,000 円/お子様 1 名（3 歳以上）**

**・ナビゲーター:鈴村英理子、吉永初美（保育士資格保有）/親子のコミュニティダンスグループ「チチカカコ」**

**・参加者:5 名（うち 2 名はナビゲーターのお子さん）**

**＜2 名のお子さんを預けられた利用者（保護者）の感想＞**

**「2 人とも物凄く楽しい時間だったようです。素敵なそして重要な企画だったと思います。ありがとうございます。」**

**■担当:佐東、神前、松岡、清水**

**■「ARTS for the future!」補助対象事業　■[後援] 京都府、京都市、京都市教育委員会**

**■全体予算:650 万円**

2. コンテンポラリーダンスに関わる情報の発信　.

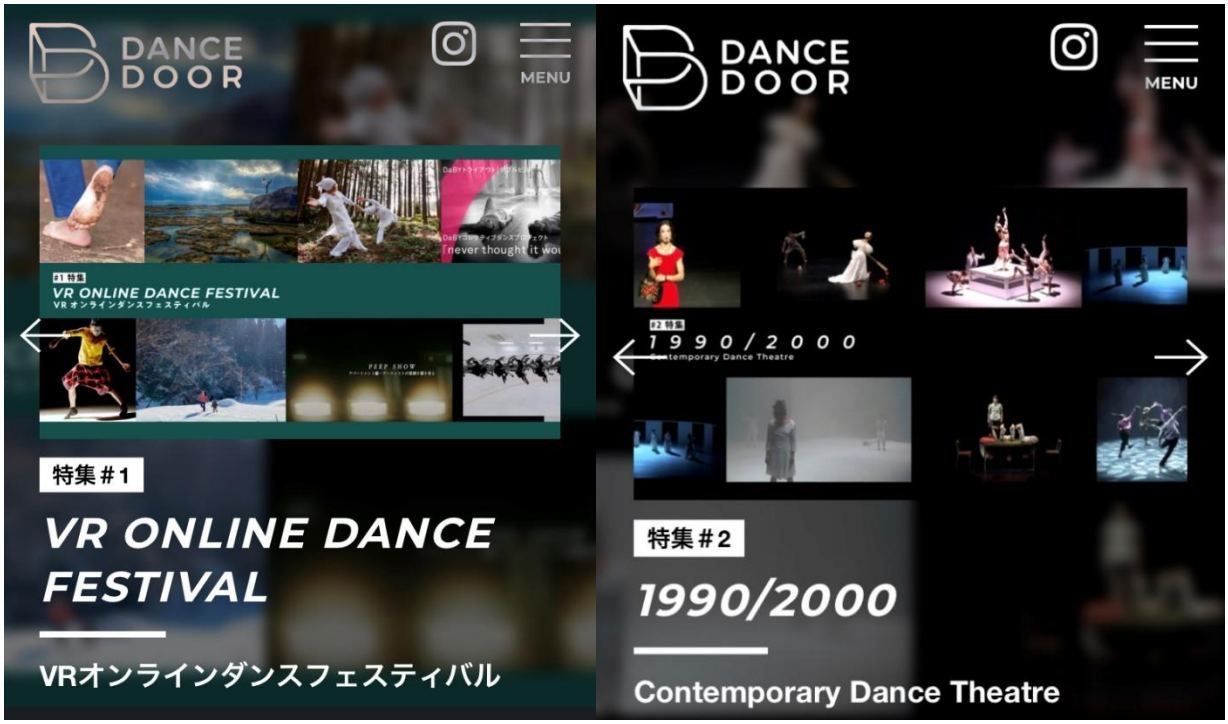
# ダンスビデオ配信サイト 『DANCE DOOR』

## https://dancedoor.jp/

昨年制作した映像配信プラットフォーム「Contemporary Dance ON AIR」を発展させて、2021 年 6 月 30 日にダンスビデオ配信サイト『DANCE DOOR』を制作、公開した。それぞれのアーティスト・カンパニーが生み出したダンス作品を、現代の文化的財産として、しっかりと未来に残すこと、どこにいても、いつでも誰でもが観ることのできる環境を創ることそのことによってアーティストやカンパニーに少しでも収益が入る仕組みをつくることなどを考えている。
現在、一般からの公募作品を受け入れるための準備中。今後、ダンス作品を公募して増やしていく予定。

◇公開時の特集　（有料、単品およびセットレンタルとして配信中）
①「オンラインビデオダンスフェスティバル」（8 団体、13 作品）、
②「1990/2000」（8 団体 17 作品）
2021 年 6 月 30 日―2022 年 3 月 31 日の配信実績／
①セットレンタル販売数 20 件　（予告編視聴 21 回、オンデマンド作品視聴数 107 回）
②セットレンタル販売数 16 件　（予告編視聴 33 回、オンデマンド作品視聴数 80 回）

◇作品公募に付随したセミナー　（JCDN 月 1 ダンスミーティング内で実施）
振付家・ダンサーのためのセミナー「著作権の権利処理、契約の知識・方法を弁護士に学ぶ！」
10 月 22 日（金）
ダンス映像の配信に関して必要な著作権の権利処理や契約の知識や方法を『DANCE DOOR』法務アドバイザーである、骨董通り法律事務所の田島佑規弁護士にわかりやすく解説いただいた。




■担当：佐東・清水　　■全体予算：前年度の継続

3. 文化芸術による被災地の復興支援

# 三陸国際芸術推進事業 2021　https://sanrikuarts.com/

## Ⅰ　令和3年度日本博主催・共催型プロジェクト　三陸国際芸術祭　縦

### 1 『鉄路を彩る』井上信太と三鉄ラッピング大作戦！！～マグネットでかざっちゃおう！～

三陸沿岸地域の久慈市・宮古市・大船渡市に講師として美術家の井上信太氏を招へいし、地元の高校生とも連携しワークショップやアウトリーチを行い、ラッピング車を製作。ラッピング車両は、2022 年 8 月まで一年間運行。

### 2 『鉄路を彩る』三人の三陸

三陸沿岸に 3 人の写真家を招聘。震災から 10 年を迎えた 2021 年、三者三様に三陸との関わりをもってきた写真家が、それぞれの視点から三陸の生活・文化・自然等を体験し、写真作品・制作インタビュー動画等を三陸鉄道車内に展示。

1. 写真家：浅田政志、石川直樹、田附勝（五十音順）
2. 展示＜三人の三陸　三鉄 ART GALLERY＞期間：2022 年 1 月 15 日（土）～3 月 31 日（木）　場所：三陸鉄道車両内

浅田政志 編　1 月 15 日（土）～2 月 5 日（土）　乗客数：1,872 名

田附　勝 編　2 月 10 日（木）～3 月 3 日（木）　乗客数：1,521 名

石川直樹 編　3 月 10 日（木）～3 月 31 日（木）　乗客数：集計中

### 3 『土地を彩る』シリーズ三陸の芸能

三陸各地の芸能が登場する催事について、15 件（うちコロナ禍で 8 件が中止）の最新情報を、ホームページにおいて日英 2 ヵ国語で広く紹介。

### 4 『未来を彩る』シアタープロジェクト

三陸の劇場を舞台に、芸能の実演のほか、『未来を彩る』をテーマとして三陸の文化発信を行った。

## 4-1 シアタープロジェクト大船渡

みんなのまつりを、みんなでつくる　をテーマに、子どもたちを対象とした美術とダンスのワークショップ、「赤澤鎧剣舞」の演舞・ファッションショーの他、三陸の子どもたちとつくりあげた三鉄鉄道のアートラッピング車両の軌跡動画を上映。

①プログラム 1　『不思議な洋服づくりとダンスのワークショップ』

日時：2021 年 8 月 8 日（日）13:00～16:00　　場所：リアスホール

講師：井上信太（美術家）、磯島未来（振付家・ダンサー）

参加人数：11 名

②プログラム 2 『みんなでつくる、みんなのまつり』

日時：2021 年 8 月 9 日（月・祝）13:30～　　場所：リアスホール

出演：赤澤芸能保存会　42 名、ファッションショー出演児童　11 名

参加人数：80 名

## 4-2. シアタープロジェクト宮古

震災から 10 年の三陸への視点をテーマに、三人の写真家によるトークセッションと、みやこ郷土芸能祭にて芸能の紹介を行った。

①トークイベント『三人の三陸』

日時：2022 年 3 月 5 日（土）15：30～17：00　場所：宮古市民文化会館

出演：浅田政志、石川直樹、田附勝

②第 13 回みやこ郷土芸能祭

日時：3 月 6 日（日）13：30～17：00　会場：宮古市民文化会館

出演団体：黒森神楽保存会、末角神楽保存会、澤目獅子保存会、花輪鹿子踊り保存会

出演者数：69 名、参加人数：202 名

## 4-3. シアタープロジェクト八戸

これまでの 10 年とこれからの 10 年をテーマに、三陸国際芸術祭を振り返りながら、これからの三陸の可能性を模索するシンポジウムを行った。

日程：2022 年 3 月 13 日（日）　場所：八戸ポータルミュージアム　はっち

①オープニングパフォーマンス　12：30～13：00

出演：鮫神楽（八戸市）　9 名　　参加人数：45 名

②シンポジウム　　13:00～16:30

第一部 『芸能が生まれる地～郷土芸能とアーティストの出会いから～』

出演：磯島未来、チェ・ジェチョル（韓国太鼓演奏家）、畑中大河（鮫神楽連中）、原瑞希（鮫神楽連中）　進行：小岩秀太郎（全日本郷土芸能協会）

参加人数：37 名

第二部 『三陸国際芸術祭と創造的な復興について～これまでの 10 年とこれからの 10 年を考える～』

出演：吉本光宏（ニッセイ基礎研究所）、武田康孝（国際交流基金アジアセンター）、井上智治（カルチャー・ヴィジョン・ジャパン）、佐東範一

進行：坂田雄平（いわてアートサポートセンター、宮古市民文化会館）

参加人数：20 名

## Ⅱ　三陸国際芸術祭　三陸×アジア　芸能交流プログラム

### 1 「ふえ Lab」 https://www.youtube.com/watch?v=dAPRrEGqfy4

民俗芸能になくてはならない“竹笛”をテーマに、アジア各地の同異の文化で育まれた旋律やリズムを披露し習い合い、一つの舞台作品を創出。アジアの芸能団体とはオンラインで交流し、同プログラムの交流成果発表として、創出した舞台作品『髪長姫』を実演、東京 2020 NIPPON フェスティバル共催プログラムとして世界に発信した。

日程：2021 年 5 月下旬～9 月 12 日（日）

場所：宮古市民文化会館、大槌町文化交流センター　おしゃっち、陸前高田市民文化会館　奇跡の一本松ホール

出演団体：シルバーベル　ダンスグループ（カンボジア）、オマ・ガムラン（インドネシア）、十一日町えんぶり組（青森県八戸市）、大槌虎舞協議会（岩手県大槌町）、　中野七頭舞保存会（岩手県岩泉町）

サポートアーティスト：　前川十之朗（演出家・作曲家）　篠笛：大部仁　太鼓・歌：佐藤公哉

サポートコーディネーター：　進行／小岩秀太郎、武藤大祐（群馬県立女子大学文学部美学美術史学科准教授）

配信日：9 月 12 日（日）　視聴者数：6,035 回（2022.5.16 現在）

### 2　三陸×アジア　オンライン＆トークセッション

三陸沿岸の市町村を舞台に、アジアの芸能団体が三陸の芸能団体や学校などを訪ね、体験交流などを予定していたが、コロナ禍の影響により、オンラインでの交流やトークセッションなどを実施した。

開催日程：2021 年 12 月 17 日（金）～19 日（日）

#### 2-1.　三陸×アジア「ふえ Lab」 オンラインセッション

ペア（一対一）でお互いのあゆみや背景を語り合い、芸能、笛を軸に交流を行った。

①日程：2021 年 12 月 17 日（金）　場所：大槌町文化交流センター“おしゃっち”エントランス
　参加団体：大槌虎舞協議会　、ライオンダンス

②日程：2021 年 12 月 18 日（土）　場所：大槌町文化交流センター“おしゃっち”エントランス
　参加団体：中野七頭舞保存会　、　オマ・ガムラン

③日程：2021 年 12 月 19 日（日）　場所：八戸市長根屋内スケート場（YS アリーナ八戸）多目的室
　参加団体：十一日町えんぶり組　、シルバーベルダンスグループ

#### 2-2. トークセッション「ふえ Lab」『髪長姫』を振り返って、今後の展望

企画を終えて互いの感想、今後の展望などをオンラインで語り合った。

日程：2021 年 12 月 19 日（日）　場所：メイン会場／八戸市長根屋内スケート場（YS アリーナ八戸）多目的室　中継会場／大槌町中央公民館大会議室、岩泉町　小本津波防災センター

#### 2-3.　記録集「三陸×アジア、未来へ」

三陸国際芸術祭 2014-2021 の概要、関係者や海外参加団体からのメッセージ等を集めた記録集を作成した。　初回発行部数 500 部

## Ⅲ 『三陸芸能短期留学(オンライン芸能体験事業)』『芸能マッピング』

### 1 三陸芸能短期留学(アーティスト・イン・レジデンス(A.I.R))

三陸地域の新たな文化体験事業の開発を目的に、国内外から芸能を習う芸術家を集める三陸芸能短期留学事業。昨年同様コロナ禍の状況を鑑み、オンラインで芸能体験を開催した。

①日程:2022 年 1 月 29 日(土)19:30～21:00　場所:大槌町文化交流センターおしゃっち(大槌町)
　講師:臼澤獅子踊(大槌町)20 名　参加者:　9 名

②日程:2022 年 1 月 30 日(日)10:00～11:00　場所:大槌町文化交流センターおしゃっち(大槌町)
　講師:錦町青年会(釜石市)18 名　参加者:　5 名

③日程:2022 年 3 月 21 日(月・祝)10:00～11:30　場所:鮫町生活館(八戸市)
　講師:角浜駒踊り(洋野町)15 名　参加者:　5 名

④日程:2022 年 3 月 21 日(月・祝)14:00～15:30　場所:鮫町生活館(八戸市)
　講師:重地えんぶり(八戸市)25 名　参加者:　4 名

### 2　三陸芸能マッピング　　https://sanrikuarts.com/mapping/

2-1. **サイト改修**　芸能マッピングサイトを以下の通り大幅に改修し、システム化した。

1)芸能団体の位置が表示されるマップの各芸能ポイントをクリックすることで芸能団体名が表示
2)各地の芸能リストを写真入りで表示し、芸能の種類および地域でソートが可能に
3)各芸能団体のプロフィール、写真、動画などを独立ページで紹介
4)芸能マップと芸能リスト、芸能カレンダーを有機的に連動させることが可能に
5)上記システムをCMS(ワードプレス)で構築し、事務局内で情報入力を可能に

**2-2. 翻訳・発信**　芸能団体 26 団体のプロフィールを翻訳し、各芸能団体の詳細ページに追加した。

**2-3. インタビュー・ブログ記事『語り継がれる三陸の芸能』**「三陸芸能つなぐ声」

1) episode02 | 第二話「中野七頭舞の歴史」語りつなぎ人:山本恒喜
2) episode03 | 第三話「えんぶり組と八戸史」語りつなぎ人:古館光治
3) episode04 | 第四話「髪長姫がもたらしたもの」語りつなぎ人:喜多七福神の皆さん
4) episode05 | 第五話「山田町の郷土芸能と祭礼」語りつなぎ人:阿部武司

**＜コロナ禍における三陸に対する JCDN の状況＞**　2013 年より陸前高田市に家を借り、かつ 2016 年より大船渡市にも事務所を借りて、JCDN が三陸国際芸術祭の事務局を担い佐東自身 1 年の半分以上三陸を訪れていたが、このコロナによって、三陸を訪れることが困難になった。そのため、2021 年 4 月に高田の家と大船渡の事務所を返却し、事務局を盛岡市のいわてアートサポートセンターに置かせてもらうことになった。現在いわてアートサポートセンターと、大船渡市の合同会社みんなのしるし、が実質的な活動の運営を行っている。しかし佐東は全体のプロデューサーとして、JCDN が三陸国際芸術推進委員会の全体事務局およびお金の支払い・管理を行っているため、三陸を訪れることは全く少なくなったが、毎日のように ZOOM と電話で、全体の統括を行っている現状です。

――――――

**■担当:佐東(全体プロデューサー)　■現地制作:葛谷・岡田、他(岩手事務所)**
**■『三陸国際芸術祭　縦』:文化庁令和 3 年・日本博**
**『三陸国際芸術祭　三陸×アジア　芸能交流』:国際交流基金アジアセンター**
**『三陸芸能短期留学』『芸能マッピング』 :文化庁令和3年戦略的芸術文化創造推進事業**
**■全体予算:69, 325, 481 円**

4.「すべての人がダンスと出会う」機会を創る、コミュニティダンス

# 日本版・コミュニティダンス・ファシリテーター養成スクール 2021

## ～これからの社会を、ダンスとともに～

**＜経過＞** 本スクールは、コミュニティダンス・ファシリテーター（ワークショップ等の活動において、参加者一人一人の表現力や創造力を引き出し、全体を目的に向かって進行するアーティスト）を国内で養成することを目的に 2014 年にスタートし、コミュニティダンスの先進国・イギリスから講師を招いて、年 1 回開校してきた。

しかし 2019-2020 年の 2 年間、コロナ禍でイギリスからの招聘が困難になり実施を見送っていた。

2021 年は、2 年ぶりの開催となるにあたり、日本人講師（旧アドバイザー）とプログラム内容について検討を重ね、城崎国際アートセンターの会場協力を得て、プログラム内容を日本版にリニューアルして実施した。

**＜実施内容＞**日本版は、これまでの基礎コースを入門コースに変更、対象を基礎コースより幅広く設定し、実践家に関わらずコミュニティダンスに関心を寄せる方に参加していただきやすくした。応用コースは、ファシリテーターをプロフェショナルな生業としていきたい方を対象に、これまでに基礎コースを受講したかどうかを問わず参加を受け入れた。また、ゲスト講師を招き、教育・地域に特化した講義を加えた。

コースごとのセッションの他に、全コース生が参加するグループセッションには、多様なプログラムを用意。うち、講師それぞれの活動報告プレゼンテーション、2014-2018 のスクール講師 2 名によるオンライン・セミナー、障害福祉の場におけるコミュニティダンスの展開を考える勉強会の 3 つのプログラムをオンライン公開講座として実施。オンライン一般参加者も募った。また、城崎国際アートセンターの地域公開プログラムとして、入門コースの一部クラスを地域の方に公開し、一般公募で参加者を募ってワークショップを実施した。

**＜成果と課題＞** コロナ禍で例年より 2 分の 1 の受講生数となったが、それでも全国各地から 15 名の受講生が集まり（オンライン公開講座には 69 名）、ニーズの高さを感じた一方で、応用コースより入門コースへの希望が多い傾向はこれまでと同じであった。一人一人のバックグラウンドも多様化しており、「基礎的なこと」を学んだ後、それぞれの地元でどのように活用していかれるか、継続的にコンタクトをとりながら、そうした方々のサポートをどう行えるのかが、事務局の今後の課題でもある。

本スクールは、今後 2 年に 1 回のペースで継続する予定。このスクールを通して、社会とダンスのつなぎ手となるファシリテーターとともに、今後の日本のコミュニティダンスにおける新たな可能性を切り開いていきたい。

**＜実施概要＞**

【日程】2021 年 10 月 29 日（金）～11 月 1 日（月） 【会場】城崎国際アートセンター（KIAC）
【講師】新井英夫、北村成美、マニシア、アオキ裕キ、隅地茉歩
【ゲストスピーカー】〔オンライン・セミナー〕セシリア・マクファーレン、ダイアナ・アマンズ（英国）
〔公開勉強会〕 大澤寅雄、大塚千枝、鈴木励滋、野中香織 〔応用コース〕 田中幸恵
【トーク ナビゲーター】稲田奈緒美、佐東範一
【受講料】〔入門〕〔応用〕 50,000 円 ＊JCDN アクティブ会員、2014-18 基礎コース受講生は応用コース 40,000 円
【公開プログラム参加費】2000 円/1 プログラム（他に、セット券あり）
【オンライン公開プログラム】 https://cdfs2021-open.peatix.com/view 参加者数：69 名（アーカイヴ視聴含む）
【受講生数】〔入門〕 10 名 〔応用〕 5 名 （活動拠点地域：関東 10 名、関西 3 名、東北 1 名、東海 1 名）

★2014 年より、受講生によるレポートを提出いただき、以下のサイトにアーカイヴしています。
この度、JCDN 会員に限って公開します。
サイトアドレス http://jcdnschool.blog.fc2.com/ （閲覧パスワード：jcdnschool）

**■担当：神前、松岡、佐東 ■協力：城崎国際アートセンター ■予算：94 万円**

4.「すべての人がダンスと出会う」機会を創る、コミュニティダンス

# こちかぜ（東風）キッズダンス　8

―東山区発の、ダンスによる子ども育成を通した地域力創造プログラム 2021―

**＜経過＞** 2014 年 6 月、京都市東山区・東山いきいき市民活動センターを拠点にスタートした、周辺地域（東山三条）の子どもたちとのコミュニティダンス・プロジェクト。活動 3 年目の後半から、公募で集まった子どもたちと三条学童保育所の子どもたちが一緒にワークショップに参加するようになり、継続 8 年目を迎える。

とても元気でエネルギッシュな東山の子どもたちは、“東からふく風”＝東風（こちかぜ）キッズと名づけられ、ダンスはもちろん、衣裳やチラシの素材など、アーティストのナビゲートのもと、子どもたち自身のアイデアを活かして自由にのびのびと創造する場になっている。

**＜実施内容＞** 2021 年もメインプログラムを春から冬まで三期に分けて、年間を通じて活動予定だったが、新型コロナウィルス感染症拡大を受けて＜春編＞を中止し、＜秋編＞と＜冬編＞を一期にまとめて 8-2 月に実施した。

リ・スケジュールし取り組むことになった「2021 年は、こちかぜパラダイス！」では、新たな試みとして、写真×ダンスのワークショップ、音楽×ダンスのワークショップを行った。また、メインプログラム最終日にお客さんを招いて「オープンこちかぜ！ショーイング＆体験ワークショップ」を行った。この「オープンこちかぜ！」にお客さんをお招きするためのチラシの素材を、子どもたちとワークショップで作り、完成したチラシは、ご家族から友人、そして全国の方々に向けて配った。また、子どもたちの成長や変化についてのささやかなことを記録し言語化し発信する事を目的に、PHOTO DOCUMENT の製作と関連プログラムを行った。

**＜成果＞** 小学 1 年生から毎年参加していた子どもが中学 1 年生になっても継続して「これからは私らが引っ張っていく」という意思をもって参加してくれるようになった。初めて会った時、とにかく奇声しか発さなかった子が、今は、そういう自分を振り返る余裕をもって「こちかぜ」に関わっている様子。8年間継続しているからこそ、築けること・見えてくることがある。家でも学校でもない第三の場を、今後はこちかぜ OB の中学生たちにも引っ張っていってもらいたい。

**＜実施概要＞**

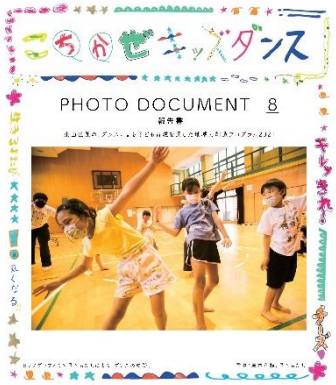
【メインプログラム（公募ワークショップ）】

期間：『2021 年は、こちかぜパラダイス！』（計 13 回） 8/5～2/26

ワークショップ会場：京都市東山いきいき市民活動センター 多目的ホール他

対象：京都市三条学童保育所の小学生（1 年生～4 年生）、近所の子どもたち
公募参加者／4 歳から小学 6 年生（経験問わず、だれでも OK！）

参加者数：延べ 189 人




【関連プログラム】

「ダンスは学びにあふれている！vol.2～教育・福祉などの現場で子どもの表現教育や支援に携わる方のための、トーク＆ワークショップ」3/20 ウィングス京都

【PHOTO DOCUMENT＆報告書】 写真と言葉による記録集を製作

◎2021 プロジェクトメンバー

［ワークショップナビゲート・作・演出］ セレノグラフィカ（隅地茉歩・阿比留修一）

［サポート・アシスタント］ 高木喜久恵、佐藤野乃子 ［アシスタント］ ケンジルビエン、大谷悠

［写真記録］ 草本利枝

［企画・制作］ 神前沙織・松岡真弥（JCDN） ［制作協力］ 岡本卓也、蔵田葵唯（京都市東山いきいき市民活動センター）

［特別協力］ 京都市三条学童保育所 岡﨑先生、西本先生、野口先生、橋本先生、篠原先生

**■担当：神前、松岡　　■令和 3 年度京都府地域交響プロジェクト交付金　令和 3 年度子どもゆめ基金助成活動**

**■予算：180 万円**

4.「すべての人がダンスと出会う」機会を創る、コミュニティダンス

# コミュニティダンスのすすめ

## ― Community Dance in Japan on web（CDJ-web）

日本のコミュニティダンスのあらゆる情報を集約する、情報ポータルサイト。
コミュニティダンスに関わる個人・団体であればだれでも登録でき、自身の活動をこのサイトで告知することができます。コミュニティダンスの場を求めている方や、どこにどのような人材がいるか知りたい方のための情報検索、研究者の論文掲載など、コミュニティダンスに関わる方々の情報を集約し発信していきます。

http://cdj.jcdn.org/　2022 年 4 月 25 日、リニューアル OPEN！！

＜リニューアル後の主な機能について＞
・コミュニティダンスに関わる個人・団体であれば誰でも登録でき、自身の活動を告知することができます。
・登録者（掲載者）は初回のみ ID と PW を入手いただく必要がありますが、その後は同じ ID と PW で公演やワークショップの登録を行えます。また、プロフィールやロゴ等を登録可能なほか、「この記事を書いた人」の「最近の記事」という表示で、登録者別の記事閲覧ができます。
・全ての記事は、地域別、活動分野別、公演またはワークショップなどの種別等での検索ができます。
・登録者（掲載者）と別に、ファシリテーターを登録する機能があり、サイト訪問者が、ファシリテーター一覧やファシリテーターごとの記事の検索ができます。
・「コミュニティダンスのススメ」LINE アカウントと連動した情報告知機能があります。
・他に、インタビュー、事業報告書、海外の事例（調査報告レポート）、研究論文　などの記事投稿も可能です。

■担当　神前　　■サイト製作（リニューアル）：creative unit DOR　デザイン：西谷デザイン　■イラスト：梢夏子
■予算：前年度の継続

**5. 子どもたちの創造力・表現力・コミュニケーション力を育む、創造的なダンス教育の普及**

# 令和 3 年度文化庁「文化芸術による子供育成総合事業－コミュニケーション能力向上事業－」 NPO 法人提案型

からだを使ったコミュニケーションや創作方法である“ダンス”を通じて、児童生徒の創造力・想像力・コミュニケーション力の向上を目的に、アーティストが学校へ出向いて行うワークショップをコーディネートする。令和 3 年（2021 年）度は、前年度に同じ大阪府堺市・沖縄県・滋賀県大津市の 3 地域　計 9 校で実施予定のところ、新型コロナのため 2 校が中止となったほか、1 校はオンライン授業に切り替えて実施した。

**＜実施内容＞　※実施日順。コロナのため中止された 2 校（久米島町立仲里小学校、那覇市立宇栄原小学校）を除く。**

| 実施日 | 地域 | 実施校（対象児童生徒数） | 派遣芸術家氏名 | 実施内容、児童生徒・先生の反応や感想等 |
|---|---|---|---|---|
| 7 月 6 日 | 大津市 | 大津市立北大路中学校（2 年生 3 クラス 107 名） | セレノグラフィカ（隅地茉歩・阿比留修一） | 中学 2 年生 107 名合同で、3 コマ分を 1 日校外学習として、県立武道館の柔道場を会場に実施。心と身体を開放するところからペアでの創作、最後は学年で一つの踊りを踊る体験をした。<br>※同様の形式での実施は 3 回目<br>コロナになって様々な行事が中止や縮小になるなかで、生徒たちはこの校外学習のダンスによる学年交流会をとても楽しみにしていた。3 コマ分のダンス体験を 1 日で終え、生徒にも先生方にも最後は一体感が生まれていた。1 日立ち合われた学校長から「一人一人みんな違ってみんながいいという事が分かる、体感できる 1 日だった。」とのご感想をいただいた。 |
| 10 月 19-21 日 | 沖縄県 | うるま市立あげな小学校（3 年生 2 クラス 75 名） | 赤丸急上昇（赤松美智代・丸山陽子） | 1 コマ 90 分×2 クラス×3 日間実施。事前打合にて、「子どもたちは他者との関りの中で小さなすれ違いからトラブルになる事がある。自分の思いを素直に表現することの大切さや楽しさを学び、よりよい人間関係を築く力を身につけさせたい。」と伺う。3 日間を通してコミュニケーションを誘発するワークをたくさん行った。<br>・2 日目まで課題の多かった男児のうち一人が、3 日目、ある事がきっかけで急に集中し、面白い動きを生み出した。その様子を見た取り巻きの男児たちが、「俺も俺も」と創作のワークを集中してやりだした。<br>・最終日の振り返りで担当の先生方から、「（アーティストには）児童の課題に対するアプローチをピンポイントでしていただいた。言葉をなくす（しゃべらない）ことが本当に苦手な子どもたちが、徐々に周囲をみて言動を変えていく様子が見られた。」「K 君がいると勉強にならないほど。その子が最後に、もう終わり？と聞いてきた。3 日間で、こんな一面もあるのかと発見だった」と、涙を浮かべながら仰ったのが印象深かった。 |

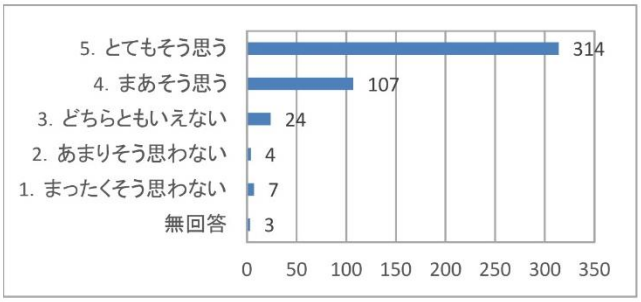
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 11 月<br>15・22・<br>12 月 6<br>日 | 堺<br>市 | 堺市立<br>新檜尾台小学<br>校<br>（4 年生 2 クラス<br>49 名） | 鈴村英理子 | 1 コマ 90 分×2 クラス×3 日間実施。3 日間を通して、自分と他人の身体を知る、自分の身体は自分で守る事を伝えながら、様々なワークに取り組む。最終日のグループ創作では、2 日間で経験したワークを自由に組み合わせて、構成を考え、短いダンスを子どもたち自身が創って発表した。<br>・ふだん勉強がしんどい児童ほど、表現にのめり込み、先生からみて独創的な表現をしていたそうだ。先生からは、「（勉強がしんどい子に）普段なかなか褒める機会がなく、この授業でたくさん褒めてあげられたのが良かった」といった感想を伺った。 |
| 11 月 25<br>日・12 月<br>14-15 日 | 堺<br>市 | 堺市立<br>東深井小学校<br>（2 年生 3 クラス<br>99 名） | 東野祥子、<br>佐々木健二<br>郎、松木萌 | 1 コマ 70 分×3 クラス×3 日間実施。1 クラスづつ担当講師を交代し、前年までアシスタントを務めていたダンサー2 名（佐々木さん、松木さん）が、初めて講師を務めた。若手に現場経験を積んでもらう事が狙い。担当の先生には、若手育成を兼ねる形での実施について事前にご相談し、快く受けていただいた。堺の先生と JCDN とで相互に研究会等での交流があり信頼関係を構築していたこと、東野さんには堺市での実施初年度から講師を依頼しており堺市の先生方の信頼が篤く、実現した。<br>・3 クラスともに、児童の実態は事前に伺っていたよりも集中力と好奇心があって、どんな新しい事にも前向きに取り組む事ができ、聞く力もあってたくさんの事を吸収してくれた。 |
| 12 月 1-<br>3 日 | 沖<br>縄<br>県 | 那覇市立<br>大道小学校<br>（2 年生 2 クラス<br>39 名） | 知花幸美 | 1 コマ 90 分×2 クラス×3 日間実施。得意なことの差もあるが、ほぼ全員が自分の表現を試みることができた。担当の先生から「こんなに自由に表現するのを見るのは、初めてで面白かった」との感想をいただいた。 |
| 1 月 24<br>日・<br>2 月 1-2<br>日 | 堺<br>市 | 堺市立<br>東陶器小学校<br>（2 年生 4 クラス<br>137 名） | 田中幸恵 | 1 コマ 45 分×4 クラス×3 日間実施。45 分と限られた時間に、たくさんの創作方法を体験し、どのクラスでも最終回に「ミニミニ発表会」で人にみてもらう体験まで行った。先生方からは、「ここまでできるんや」「子どもたち同士で楽しみを見つけていた。」「普段お話がきけない子も今日は周りに合わせてやっていた」などの感想をいただいた。<br>担当の先生は、これまでに当授業を複数回受けて来られた方で、ダンス授業の指導法を学ぶ意欲が強くおありだったため、毎回の授業の振り返りでは、ひとつひとつのワークを発展させたり、アレンジする方法などの質問が飛び交った。 |
| 1 月 19<br>日・<br>26 日・<br>2 月 3 日 | 大<br>津<br>市 | 滋賀大学教育<br>学部　附属特別<br>支援学校<br>（小学部 2-6 年<br>生 13 名） | 北村成美 | 全学年 13 名。コロナで対面実施ができなくなり、オンライン・ワークを 3 日間実施。モニター越しでも元気いっぱいに動けていた。また、昨年同様に学校の機材でも映像を撮影いただき、zoom 画像と合わせて記録映像を製作。zoom 画面には写っていない姿もたくさん見られ、こうした記録を撮っておくことの重要性を痛感した。※記録映像は限定公開のため、ご入用の際はご連絡ください。 |

文化庁令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業ーコミュニケーション能力向上事業ー＜ＮＰＯ法人等提案型＞」児童・教員アンケート集計（自由記述部分を除く）

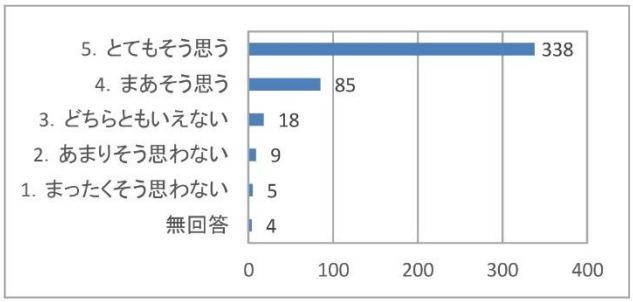
**【児童アンケート】　回収 459枚（男228名、女231名、/合計7校中回収できたもの）**

質問　ダンスのワークショップに参加してみて、どうでしたか？

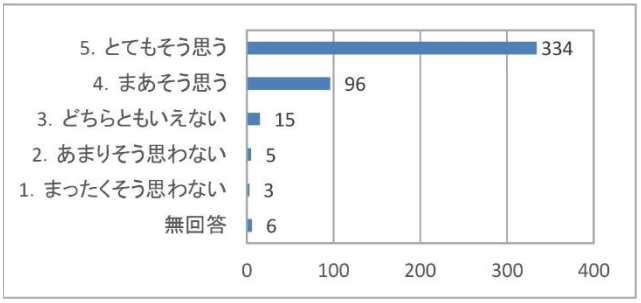
1）満足しましたか？



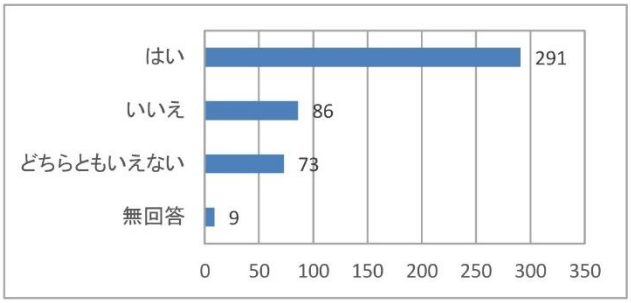

2）楽しかったですか？



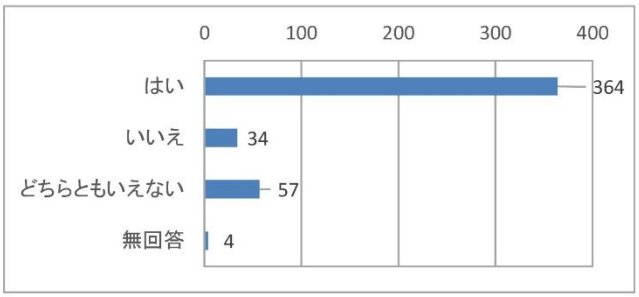

3）説明はわかりやすかったですか？




4）いつもと違う友達の様子を見つけましたか？




5）また参加してみたいですか？

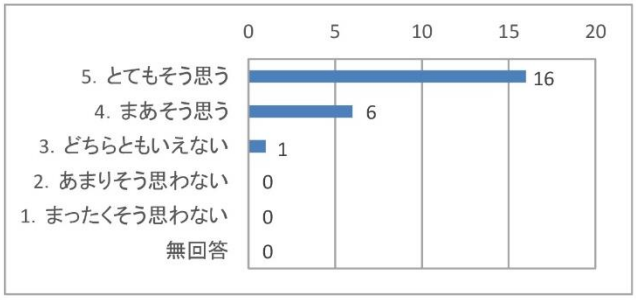



---

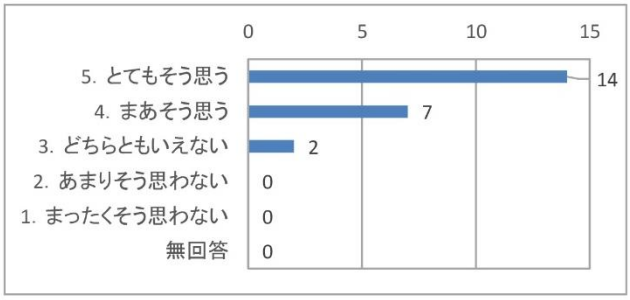
**【教員アンケート】 回収 23枚 （計7校）**

質問①　児童の様子について、下記の項目に1～5段階でお答えください。

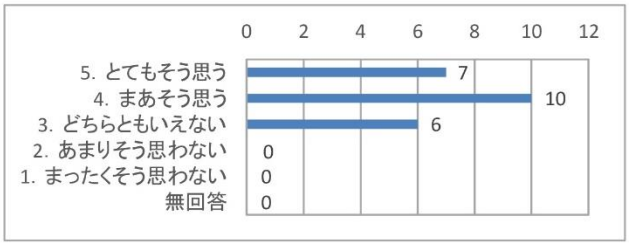
1）子供たちの豊かな自己表現がみられた。



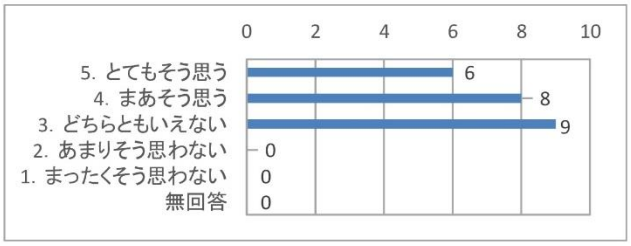

2）普段に比べて、子どもたちが自発的に参加していた。



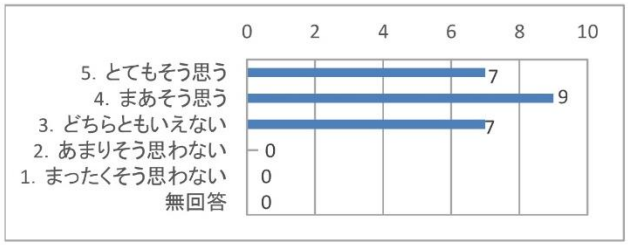
3）子供たちが、自分の行動や発言に自信を持つようになった。



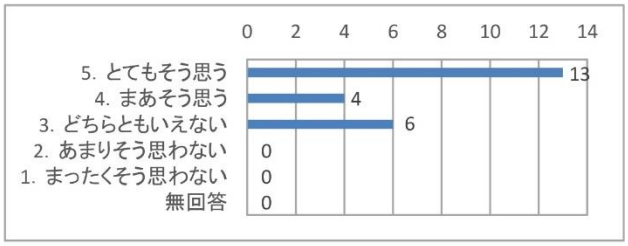

4）クラスの中で、子どもたちの関係性が変化した。



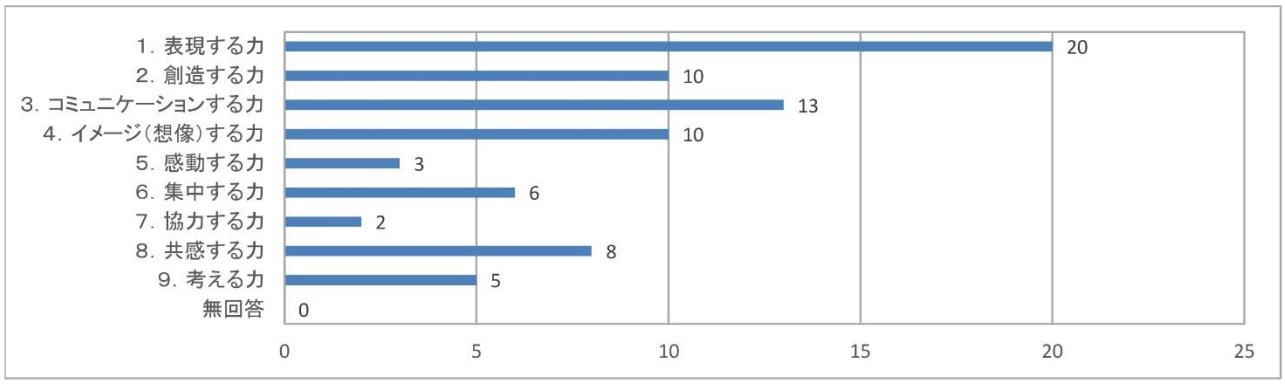

5）以前より協調性が生まれた。




6）今まで知らなかった友達の良さや特徴を発見した。

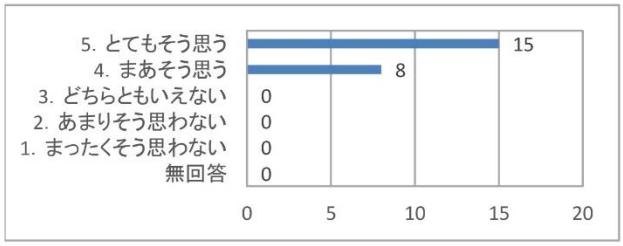



質問② このワークショップが、児童生徒のどのような能力を育むことに効果が高いと思いましたか？
（下記の中から当てはまる上位三つに○をつけてください）

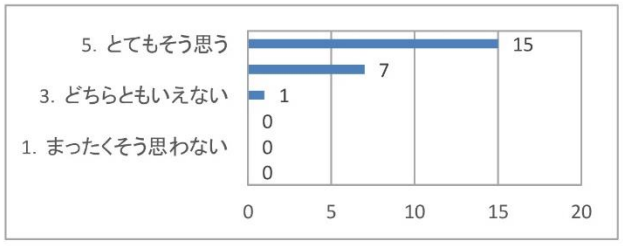



質問③ 先生ご自身について、下記の項目に1～5段階でお答えください。

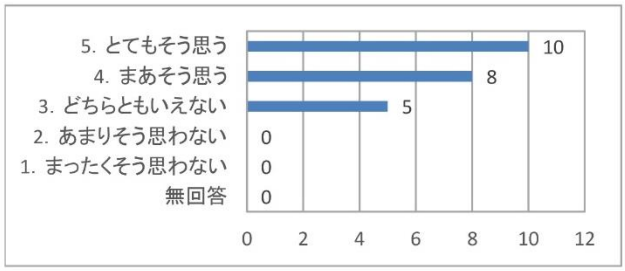
1）ダンスアーティストの考えやワークショップ方法を知ることで、普段の授業に活かすためのヒントを得ることができた。



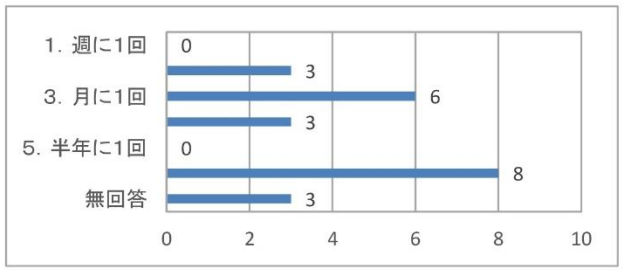

2）いままで知らなかった子供たちの新たな面を発見した。




3）今後のクラス運営に役に立つことを得た。




4）どのくらいの頻度で行えば定着すると思いますか。




**■コーディネーター：神前、松岡**

**■令和 3 年度「文化芸術による子供育成総合事業ーコミュニケーション能力向上事業ー」（文化庁）**

**■予算：320 万円（予算 370 万のうち、実施しなかった学校分を返金）**

6. コンテンポラリーダンスを用いた、社会的課題への取組

# 創造的なダンスによる、子どもはぐくみ事業

（旧 「創造的なダンスを用いた、児童青少年の自己肯定感向上プロジェクト」）

2018 年-2019 年に行った「創造的なダンスを用いた、児童青少年の自己肯定感向上プロジェクト」の体験活動実施先でのワークショップ活動のみを継続。本事業では、何かしらの理由で創造的なダンスの場に出向くことが難しい子どもたちがいる場所へ体験活動の場を拡げ、子どもたちの成長の一助とすることを目的とする。

**【1】 母子生活支援施設Aダンスワークショップ2021**

◎期間：2021年10月から翌3月まで　※計11回、1回60分

◎対象／母子生活支援施設Aで生活している1−6年生　延べ18人（一時入所の子ども含む）

◎アーティスト：セレノグラフィカ（隅地茉歩・阿比留修一）

◎サポートアーティスト：鈴村英理子、花沙

**＜経過＞** 母子生活支援施設Aは、18歳未満の子どもを養育している母子家庭、またはさまざまな事情で離婚届ができていないなどの母と子が利用できる児童福祉施設で、DVなどの深刻な状況に置かれた母子を一時的に保護するシェルターでもある。施設側は、身体を動かすことによるプラスの要素に着目しており、継続してプロのダンスのアーティストに関わってもらう機会を望んでおられた。

**＜実施内容＞** 当施設でのダンスワークショップは継続3年目を迎えた。ただ、2020年度に続いて2021年度も舞台発表の機会がコロナで中止になった。更には、予定していた日に緊急事態宣言や蔓延防止が発令され、施設への立ち入りができなくなった。施設支援員さんと相談し、オンライン実施に切り替え、ワークショップ実施予定日に予定通りワークショップを行う事、日常の遊びや生活のひとつにダンスがある時間をつくることを、まずひとつの目標とした。その結果、2021年度は計11回のワークショップを行い、最終回に6年生を送り出す事ができた。

**＜成果＞** 3年も経つと、以前は瞬間的にしか活動部屋にいられなかった子どもが、最初から最後まで居られるようになるとか、ほとんど会話にならなかった子と会話ができるようになるなど、変化も感じる。アーティストとの距離も縮まってきている。施設支援員さんからは「子どもにとってこのダンスは表現や自分自身が否定されない貴重な場として受け入れていただいており、今後も継続して様子を見ていきたい。」と伺っており、継続して様子を見ていきたい。

**【2】 平安養育院ダンスワークショップ 2021 （見送り）**

継続4年目の実施となる予定だったが、これまで担当されていた支援員さんの退職、施設の改修工事にコロナが重なり、2021 年度は実施を見送った。今後、施設との協議を行い、活動を再開する予定。

■担当：神前・松岡　■令和 3 年度子どもゆめ基金助成活動　　■予算：50 万円（未使用分は返金）

7.その他、講習・政策提言・アドバイザー等

## ・令和 3 年度公共ホール現代ダンス活性化事業（神前）

コーディネーター担当地域：（7 月）沖縄県浦添市 C プログラム （12 月）石川県野々市市 C プログラム （1 月）大阪府堺市 A プログラム （3 月）大阪府泉大津市 A プログラム ※現場のみ代行担当

## Ⅱ. 会 員 部 門

1. コンテンポラリーダンスに関わる情報の発信

# JCDN 会員サービス等

### ＜JCDN 会員の種類と対象＞

①アクティブ会員（個人/団体/U25） 個人：一口 5,000 円（U25 3,000 円）／団体：一口 10,000 円

※法人格を持たないカンパニー等は個人で入会可。

対象：JCDN の目的に賛同し、活動を推進することを目指すアーティスト・プロデューサー・評論家・研究者・ライター・スペース・ホール・美術館・企業・財団・自治体・大学・NPO などの個人・団体

②サポート会員（個人/団体） 個人：一口 10,000 円／団体：一口 20,000 円

対象：JCDN の事業を賛助・支援する個人・団体

③ダンスコミュニティ会員（個人のみ） 個人：一口 3,000 円

対象：JCDN の活動に共感する個人。

ダンスの情報が得られることによって、ダンスを身近なものとし、楽しむための機会を増やします。

### ＜2021 年度 JCDN 会員数＞　合計 120 名/組

【現在有効期限会員】 アクティブ個人 67 名、団体 23 組/サポート個人 4 名、団体 1 組/ダンスコミュニティ個人 10 名

【休会会員】（最長 2 年間） アクティブ個人 6 名 /ダンスコミュニティ個人 1 名

※そのほか、JCDN 役員・スタッフ等（過去も含む） 8 組

### ＜JCDN 月一ミーティング＞

2020 年のコロナ禍においてダンス関係者の情報交換の場として行った「ダンスサバイバルメーリングリスト」。その中から生まれた「ダンスサバイブ ZOOM ミーティング」を 2020 年 5 月から 7 月にかけて、10 回にわたって行いました。その後継企画として、様々なトピックを取り上げ、会員同士で話し合う機会を作りたいと思い、ZOOM による「JCDN 月一ミーティング」を開始しました。スケジュールの関係で毎月実施することはできませんでしたが、下記の 2 つのセミナーとトークは、とても学ぶことが多く、会員だけではなく広くダンス関係者の参加がありました。

振付家・ダンサーのためのセミナーvol.1「オンラインダンス映像配信に関して権利処理の進め方/これからのダンス作品上演の際の契約取交わしの在り方」

日時：2021 年 10 月 22 日（金） 19:00～21:00

講師：田島佑規弁護士（骨董通り法律事務所）

テーマトーク「ダンス業界における、アート活動と子育ての両立について」

■日時：11 月 26 日（金）22:00～24:00

■視聴方法：ZOOM 配信（オンライン視聴のみ）※要事前申込

■ナビゲーター：伊藤キム（振付家・ダンサー／GERO）

■スピーカー：伊藤キム（振付家・ダンサー／GERO）、篠崎芽美（振付家・ダンサー／「ダンス保育園‼」「ヒョーゲンのメメメ」）、立本夏山（俳優）、横堀ふみ（プログラムディレクター／NPO 法人 DANCE BOX ） ほか

■企画及びコーディネート：清水幸代（JCDN）

■参加費：JCDN 会員/無料　一般参加者/1,000 円(税込み)

## *JCDN* 会員サービスについて

アクティブ・サポート・ダンスコミュニティ会員それぞれに、ダンスを社会に広めるための様々な支援サービスを行っています。特に、JCDN アクティブ会員対象のサービスはサポートを充実させています。

※JCDN ダンスリザーブ ―オンラインチケット予約システム―は、IT 技術の進歩により様々な既存の予約システムがあるため、2019 年度の会員更新時をもってサービスを廃止する事と致しました。長い間ありがとうございました。

| | アクティブ | サポート | コミュニティ |
|---|---|---|---|
| オンライン　ダンス・ミーティングの場のセッティング | ○ | ○ | |
| オンライン　月 1 ダンスミーティング | ○ | ○ | |
| JCDN メールマガジンの配信（月 1 回） | ○ | ○ | ○ |
| JCDN メールマガジンへの投稿（月 1 回） | ○ | ○ | |
| 公演・ワークショップ情報の送付（DM） | ○ | ○ | ○ |
| JCDN 主催事業・関連事業の割引、及び会員主催のダンス公演等の割引 | ○ | ○ | ○ |
| JCDN 総会（年 1 回）への参加資格 | ○ | ○ | |
| 主催事業の報告書等の送付 | ○ | ○ | ○ |
| JCDNweb「MEMBERS」ページでの活動紹介★ | ○ | ○ | |
| JCDNweb「NEWS」ページでの公演、ワークショップ等の活動情報掲載　★ | ○ | ○ | |
| サポート会員からの企画や JCDN に対しての提案などを話し合う機会を設ける | | ○ | |
| DM 同封サービス（無料/年 2-3 回程度/不定期）　★ | ○ | | |
| 助成金情報などの提供、各活動に必要な情報の提供や相談など　★ | ○ | | |

(★＝詳細は、会員更新・新規申込時にご案内しておりますが、随時、遠慮なくご連絡ください。)

■会員専用メールアドレス　：　jcdnmembership@yahoo.co.jp　■担当：今村

2021 年度 NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（JCDN） スタッフ

佐東範一/代表・プロデューサー

神前沙織/ディレクター・チーフコーディネーター

松岡真弥/アシスタント

清水幸代/経理担当、及び「Dance Door」の契約関係、月一ミーティングを担当

今村達紀/会員担当